

**フタホシコオロギの
P R A 報告書**

平成 22 年 11 月

横浜植物防疫所

ステージ1：フタホシコオロギに関する有害動植物危険度解析の開始

1-1 開始：(開始するに至った問題の本質、目的)

フタホシコオロギは現在検疫有害動植物として取り扱われているが、検疫有害動植物について、平成16年5月21日に公表された「植物検疫に関する研究会報告書」で「検疫有害動植物については、輸入植物の用途や輸送形態も考慮し、可能な限りリスクの定量的な評価を含めて、適時適切なPRA（有害動植物危険度解析）を実施し、それぞれのリスクに応じた措置となるよう検証し、対応していくことが適當。」とされた。

このため、フタホシコオロギの有害動植物危険度解析を見直すこととした。

1-2 有害動植物危険度解析地域の特定

日本全域と特定する。

1-3 対象となる経路及び潜在的検疫有害動植物

1-3-1 経路

フタホシコオロギが発生する地域から輸入される寄主植物を経路と特定する。

1-3-2 潜在的検疫有害動植物

フタホシコオロギ（学名：*Gryllus bimaculatus* DeGeer）を潜在的検疫有害動植物と特定する。

1-4 情報

生物学的な情報は、別紙のとおり。

1-5 開始の結論

検疫有害動植物の取り扱いについては、「植物検疫に関する研究会報告書」において、付着する植物の用途や輸送形態を考慮しつつ、隨時適切な有害動植物危険度解析を実施する旨の指摘があったことから、有害動植物危険度解析を実施する必要が生じた。

本種を潜在的検疫有害動植物と特定し、また、本種の発生国の寄主植物を経路と特定し、我が国全域を対象として、植物検疫措置に関する国際基準No.11「検疫有害動植物のための有害動植物危険度解析」（以下「国際基準」という。）に基づき、有害動植物危険度解析を開始する。

第2章 ステージ2：有害動植物危険度評価

2-1 植物検疫上の取り扱いに影響するフタホシコオロギの特性等

2-1-1 系統

系統に関する情報は見つからなかった。

2-1-2 未発生有害植物のベクター

ベクターとなることに関する情報は見つからなかった。

2-1-3 日本での分布状況及び公的防除の有無

フタホシコオロギは、トカラ列島、奄美大島、沖縄及び先島諸島に分布している。

本種は、公的防除の対象ではない。

2-1の結論

フタホシコオロギは、トカラ列島、奄美大島、沖縄及び先島諸島に分布し、国内に存在する個体群と国外に存在する個体群の間で寄主植物の被害に差があるとの情報はない。また、本種は公的防除の対象ではなく、その対象とする計画もないため、検疫有害動植物に該当せず、非検疫有害動植物と位置づけられる。よって、有害動植物危険度解析は中止する。

別紙

和	名：フタホシコオロギ ^{2) 3)}
学	名： <i>Gryllus bimaculatus</i> DeGeer
英	名：two-spotted cricket ⁶⁾
分	類：バッタ目（ORTHOPTERA） ^{2) 3)}
	コオロギ科（GRYLLIDAE） ^{2) 3)}

分 布：(日本)トカラ列島、奄美大島²⁾、沖縄及び先島諸島³⁾
(世界)台湾、インド、スリランカ²⁾、東南アジア³⁾、アフリカ等の熱帯・
亜熱帯⁴⁾

寄主植物：ばれいしょ⁵⁾

形態・生態：体長 20 ~ 26mm 程度の大型のコオロギであり、体はつやのある黒色で、
左右前翅基部近くに黄褐色又は白色の斑がある。前翅は腹端に達する。後
脚は相対に短い。草地や畑などの土中に穴を掘り生息する。気温 25 ~
27 度で産卵を行う。⁴⁾

被 害：若虫と成虫が葉などを食害する。

ベクター・

系 統：系統等が存在するとの報告はなく、ベクターとなる旨の報告もない。⁶⁾

防 除 法：耕作地近辺の除草や圃場の清掃等による生息好適場所の除去のほか、敷わ
らに本種を集めた後に焼殺する等の方法が有効である。¹⁾

- 文 献：
- 1) 梶原敏宏・梅谷献二・浅川勝編(1986)作物病害虫ハンドブック. 養賢堂. 東京. 日本. 1446pp.
 - 2) 九州大学大学院農学研究院昆虫学教室編(1999)日本産昆虫目録データベース. 九州大学大学院農学研究院昆虫学教室. 福岡. 日本.
(<http://konchudb.agr.agr.kyushu-u.ac.jp/mokuroku/index-j.html>)
 - 3) 日本直翅類学会編(1982)バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 北海道大学出版会. 北海道. 日本. 687pp.
 - 4) 平嶋義宏・森本桂(2008)新訂原色昆虫大図鑑第3巻. 北隆館. 東京. 654pp.
 - 5) CAB International (2007) Crop Protection Compendium 2007 Edition. CAB International. Oxfordshire. UK.
 - 6) CAB International (2007) Plant Protection Database (1972-2007/5). SilverPlatter International N. V. (<http://web5s.silverplatter.com/webspirs/start.ws>)